THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA NAKANOSHIMA Y'S WOMEN

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブ

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
「強い義務感をもとう、義務はすべての権利に伴う」

C/O OSAKA YMCA, 1-5-6, Tosabori, Nishi-ku, Osaka 550-0012 Japan

MOTTOES (2015-2016)
国　　際主題：　"Mission with Faith"（信念のあるミッション（使命・目標））
ア ジ ア主題：　"Through Love, Serve"（愛をもって奉仕をしよう）
西日本区主題：　「あなたならできる！きっとできる」"You can do it! Yes, you can!"
中 西 部主題：　和を以て貴しとなす
ク ラ ブ主題：　過去はもはや関係なく　未来はまだ来ぬ

Monthly Bulletin
第 230 号
2016 年 3 月

聖書のことば
明日のことまで思い悩むな、明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦労はその日だけで十分である。
（マタイによる福音書６章 34 節）
選者　松下　広子

３月第１例会プログラム

日時：2016 年3月9日（水）18：30～20：30
場所：ホテルグランヴィア大阪

司会　吉田　由美
1. 開会点鐘　鳥居　翠会長
2. ワイズソング　一　同
3. 聖句朗読　松下　広子
4. ゲスト・ビジター紹介　鳥居　翠会長
5. 連絡・報告・ニュース
6. 食前感謝＆食事
7. 卓話
   「カメラの世界」
   山本　良子さん（女性カメラマン）
8. お誕生祝い.
9. ニコニコ献金
10. YMCA の歌
11. 閉会点鐘　鳥居　翠会長

例会当番（A）　受付当番（D）

山本良子さんプロフィール

- 1981 年生まれ
- 2006 年　京都造形芸術大学卒業
- ヘアラルト阪神理容美容専門学校講師
- 嶋本昭三専属映像・写真作家
- 国内、海外で様々なインスタレーションを行っている
- 神戸三宮でギャラリーカフェを運営

２月例会報告

歩いて　動いて

大岸　弘子

２月の TOF 例会は２月 10 日（水）大阪 YMCA９階 904 号室で、ビジターに遠藤通寛理事、松本武彦直前理事、中井信一国際・交流事業主任、上原玉音さん（東京クラブメネット）をお迎えし開かれました。

ワイズ大好きのメンバー今井利子さんの卓話「ワイズ今昔物語」のお話でした。

いつも元気はつらつの今井さんのエネルギーはどこからなの～興味深々です。

こんな時代の始まりは、昭和 29 年に河内長野市民となり、家事、子育て、舅の介護にと多忙の中、小学校の PTA の役員となり、その活動は学校のプール作りや市のお母さんコーラスグループを立ち上げられている。そのグループは 50 余年継続し、現在も楽しんでいるいう今井さんの原点があるように思える。

女性の学びの場の発展を願い、婦人学級、地域活動に目を向け社会教育委員となり、この頃、木下百太郎氏との出会いがあり、ワイズを知り昭和 52 年大阪長野クラブに入会されました。ウィメンズ１号となり、４人の女性メンの誕生に恵まれました。

以来 CS 地域奉仕活動、YMCA（堺）に関わり、YMCA の豊かな時代（プログラム、財政的）からバブルがはじけて苦難の時代にもワイズとの両輪を考えて来られました。

〈次頁に続く〉

２　月　統　計

第１例会出席者数		例会出席率		B F 統 計			
メンバー	17 名	出席者	17 名	日本	145ｇ	累計	655ｇ
ビジター	4名	メイキャップ	名	外国	ｇ	累計	34ｇ
ゲスト	名	合　計	17 名	現金	円	累計	円
コメット	1名	在籍者	19 名	提供者：今井、大岸、国友、桑原、杉浦			
合　計	22 名	出席率	89%	藤好、保田、吉田、渡辺			

改革、変革する YMCA の現状にも前向きにサポートするワイズメンでありたいと願う熱い視線が向けられています。

また、経験を活かし福祉会「あしながおばさんの会」や「アジア協会友の会」にも交流活躍されていることも伺い知りました。

「他クラブ」、「区」を越え、メン、メネットの差もなく交流“歩いて動いて”をモットーとし、交流を深められる姿は作詩されたメネットソングからも分かる。

「この人ぞワイズメン賞」を２度受賞されたことも本当に凄いと思いました。ゲストの皆さんも“元気をもらった”“能力と柔軟性”に驚き感嘆です。私たちのこれからのワイズの働きに“賜物”を活かしていきたい思いを強くしました。

……

ファミリーコンサート 2016

杉浦　眞喜子

大阪センテニアルクラブは、昨年まで ２月に桂吉弥さんの落語会を開催していましたが、吉弥さんの父君新保さんが退会されたからか、今期は落語会ではなく、クラッシックコンサートを開くことに。それを一緒にやらないかと、お誘いがありました。（つまり手伝って欲しいと？）。我々なかのしまは、これを受入、 CS 事業と位置づけ、地域奉仕・環境事業委員の藤井さんと杉浦がセンテニアルとの合同実行委員会に出て、準備に関わってきました。

最初の実行委員会は、11 月６日でしたが、その会議には、出演者の角地さん（テノール）、中井さん（ソプラノ）ご夫婦も来て下さっていましたが、当時生後３ヶ月（演奏会時には７ヶ月ぐらいになっているのかな？）の赤ちゃん連れでした。ピアノの樋口さん、ヴァイオリンの山之内さんも若手の演奏家。そしてセンテニアルの会長何さんも、小学生、幼稚園児のお父さん。彼ら、彼女らが夢を膨らませながら、「小さな子どもから大人まで、家族で参加出来る、今までにないクラッシックコンサートを！」と張り切って準備しているそれに、一緒に乗らせて頂けるのは、おばあさん世代の私たちにとってもちょっとワクワクすることではないでしょうか？でも、ベビーカー置き場をどうする？　授乳出来る場所を作らないと……、演奏中も出入り自由に？……とか、普通の演奏会では考えなくていいような問題もいろいろです。

私たちなかのしまクラブが担わなければならないことは、チケットの販売と当日のいろいろな役割。勿論収益は折半の約束。たくさんチケットを売って、収益増を目指すと共に、当日はおばあさんパワーを発揮して「今までにないクラッシックコンサート」を成功させませんか？　コンサートは、**3月26日（土）**です。

……

『六甲山 YMCA に集まろう！』を企画して

吉田　由美（中西部Ｙサ・ユース事業主査）

阪神間に住む者は日常的に六甲山を背に感じて暮らしており、山頂からの美しい景色を眺めることにより日常と非日常を区分し、開放的な気分に浸ることが出来ます。

阪急六甲駅から車では約 20 分で稜線上の『丁字ヶ辻』に到着、東方面へ曲がるとすぐに見えて来るのが六甲山 YMCA の看板です。そのまま東へ進むと、六甲山ホテルやガーデンテラス、スキー場など、西方面には六甲山牧場や摩耶山の施設が整い、山上の街を形成しています。

この魅力的な街の中心に近いところに位置する六甲山 YMCA は、1951 年青少年野外教育施設として開設されました。緑豊かな森に囲まれて、子供たちやファミリーのキャンプ、宿泊研修など、利用する多くの方々の交わりと学びを通して、人を育み、安らぎのひと時を与えてくれています。

その素晴らしい施設を有した六甲山 YMCA は、私達が属する大阪 YMCA が管理運営していますが、広大な敷地の割に配備される職員数が少なく、隅々まで管理の行き届いた、とは言えない状況に陥っています。私達の六甲山 YMCA を私達の手で整備することにより、魅力あふれる場所にしたいという気持ちで、今回の『六甲山 YMCA に集まろう！』を計画いたしました。

一人一人の力はほんの僅かでしょうが、ワイズとユースが施設整備と言う同じ目的を持って六甲山に集う事が、交わりの大切な時間となる事を信じます。

将来的に六甲山 YMCA がさらに魅力的に変貌していく過程を見届けるためにも、今回１回限りではなく、この事業が存続していくように働きかけたいと思っています。

２月第２例会報告抄

日時：2016 年２月 17 日（水）18：30～20：30
場所：大阪 YMCA　504 号室
出席者：16 名

１：中西部Ｙサ・ユース事業「六甲山 YMCA へ集まろう」（4/16）について、Ｙサ・ユース主査の吉田さんより説明があり、なかのしま参加者第一陣は阪急六甲９時半集合となった。
２：EMC パートナー賞に江見、松下、杉浦さんを申請。
３：下記次年度クラブ役員を承認。
（会長：杉浦、副会長：吉岡は既に決定済み）
書記：藤好、吉田　　会計：武井
各事業委員及び事業委員長も決定。但し４月の研修会時再調整の可能性あり。
４：西日本区大会登録申込を３月第２例会までに書記が取りまとめる。
５：２月２４日（水）大阪 YMCA にて 20 周年記念事業拡大実行委員会を持つことになった。
６：ファミリーコンサートチケットの売り上げは現在約 100 枚弱であり、今後も販売に努力することとする。

STAY HUNGRY, STAY FOOLISH. 9

生雲　文枝

二度目の退職

1982 年、フォークランド紛争が起こり、イギリスが勝利すると、会社のそれまであったアルゼンチンへの輸出が壊滅状態になり、又、その他の国への輸出も振るわなくなりました。社長の言葉によると“ひとつの商売は 10 年が限界”ということで、会社も方針を変えざるを得なくなりました。この時期、業界の先行きが見えないという判断で多くの社員が会社を去りました。そして私も一緒に退職してしまいました。あれだけ辞められないとの思いでがんばってきたのに簡単に退職するなんて、今考えたら、何とまあ、気楽なこと、まだ若かったからかもしれませんが……

輸入会社に就職

とりあえず、失業保険をもらいながら、職安（ハローワーク）が紹介してくれる会社の面接を受けに行っていたのですが、ある日、面接に行った西区の輸入会社の役員の方から電話がかかってきました。採用したいとのことでした。この時も母が「今、子育てが一番大切な時だからまだ仕事につかなくても」と言ったのですが、役員の方の「入社するかどうか、早く決めて欲しい」の一言で就職を決めました。このひとことを言われた方がワイズ・芦屋クラブの桑野さんです。そしてこの会社が私の最後の就職先となるニッカ工業株式会社でした。輸出と輸入は正反対で少し不安もあったのですが、桑野さんが外大出身の方で女性でもあったので何とかやっていけるかなと思いました。会社も新しく出来たばかりで、社員も若いフレッシュなメンバーが集まっていました。

しかし、会社に入ったばかりの仕事が２月、寒風吹きすさむ大阪南港の倉庫での検品作業だったのには驚きました。中国から輸入したスニーカーに不良品が出たので、倉庫に行って輸入された商品の山を一箱ずつ開けてチェックする仕事でした。会社は台湾に支店があり、台湾からの輸入品が多かったのですが、その当時は何と不良品の多かったこと、何らかのクレームで電話がかかってくるたびに営業担当の男の子は胃が締め付けられるようだといっていました。でも当時は輸入品が珍しく、安価だった為、ニッカ工業に入社した数年は好景気が続きました。

世界探検をしている目　9

江見　淑子

生まれつき目の不自由な人

私の友達に目の見えない人がいます。15 年ほど前から目の病気になり、お医者さんに診てもらっていましたが見えなくなりました。困ることが増えましたが、今は誰かに連れて行ってもらい用事も出来ます。点字も読めるし、おしゃべりのできるパソコンも使えるようになりました。目が見えなくなってから、敏感になり「あら、ここはお掃除していません」とわかります。靴を履いていても、床がザラッとしていると分かるのです。クリスマスの礼拝で真っ暗になっても点字で聖書が読めると活躍します。見えないと不自由で悔しいことも多いのですが、助け合えば、助ける人も助けられる人も幸せになります。

大昔、イエスさまの時代はそうではありませんでした。ある時イエスさまと弟子たちが、道を通っていると、生まれつき目の見えない人が、道で物乞いをしていました。昔は目の見えない人が行く学校もありませんし、見えなくてもできる仕事はありません。家の人に人通りの多いところに連れて行ってもらって、そこで通る人からお金をもらうのが仕事でした。通りがかりの人もお金を出すことは大切な事、当たり前のことでした。今と同じで、困ることは多かったのですが、もっと辛いことがありました。

イエスさまの時代、どうして病気になるのか分かりませんでした。分からないので、何か神様の言いつけに背いたから罰を受けたに違いないと思う人が多かったのです。だから、生まれつき目の見えない人が座っているのを見て、お弟子さんがそっと聞きました。「先生、この生まれつき目が見えない人は、悪いことをしたのですか、本人ですか？　それとも両親ですか？」その頃はそう思う人が多かったのです。もしかしたら先祖のせいかもしれないと。これは大変辛いことでした。

イエス様は「いいえ違います、誰も悪いことはありません。目の見えないことで、神さまの素晴らしさを表すためですよ。」こんなことをいう先生は初めてでした。不自由で、嫌なことが沢山あっても、神様のご計画はあるのだと聖書には書いてあります。

CS 用切手、BF 用切手事情

桑原　頼子

なかのしまクラブブリテンは、今でも印刷をして切手を貼って郵送しています。昨今パソコンでファイルを配信するほうが多いようですけど……。「郵送代がモッタイナイからメールで送ってください」というお申し出もありますが、このブリテンのファンでいて下さる方もあり、依然変わらず印刷をして郵送を続けています。

しかし、切手事情が変わってきました。CS 用切手の数が少なくなったのは、お年玉当選番号が以前は三つだったのが二つになったこと。当然、当選確率が低くなりました。年賀状を書くのを減らしているから、頂くのも少ないので確率がもっと低くなっています。もう一つ、お年玉当選切手はもちろん、昔収集した記念切手を出していたのが底をついたようです。「もう残ってない～」という声も聞きました。７円、41 円、62 円などなどバラエティーに富んだ切手が姿を消しつつあります。２月には、持ち重りするほどだった CS 用切手が軽くなりました。

BF 切手も然りです。切手を貼った郵便物が少ないのです。切手を貼ったというより、郵便物そのものも減りました。以前は、時候の挨拶、お礼状、ご機嫌伺い、近況報告などなど封書や葉書を書いたものです。便箋、封筒、切手など内容や相手によってどうするか、思考を巡らせ楽しみながら使ったものです。今や、パソコンや携帯のメールで、面倒だから電話で、と情緒がありません。以前は４㎏もあったのが、あちこちにお願いしているものの３㎏くらいに減りました。

こんな事情のなか、なかのしまブリテンの作り方も変わっていくのでしょうか……。

ニコニコ献金　2月　25,015 円

〈ニコニコメッセージ〉―　2月例会　―

☆久し振りのなかのしま例会。今井様のお話を楽しみに参りました。TOF と2月 11 日結婚記念日によせて。
（東京クラブメネット：上原玉音）

☆今井利子ワイズの卓話「ワイズ今昔物語」ということで参加させていただきました。今井さんとはひつじ仲間です。
（西日本区理事　大阪泉北クラブ:遠藤通寛）

☆今井さんの応援団の一人として参りました。改めまして、引き出しの多さに感銘を受けました。バトンを引継ぎます。
（国際・交流事業主任　奈良クラブ:中井信一）

☆ワイズの大先輩である今井さんの「ワイズ今昔物語」を楽しみに例会に出席させて頂きました。今井さんの今日につながる奥行きの深いお話し、ありがとうございました。
（西日本区直前理事　大阪西クラブ：松本武彦）

☆今井さんの手は暖かい。支えているつもりでも逆にこちらが支えられていることに気が付く。（生雲）

☆思わぬ課題に途惑いつつ……40 年のワイズ生活は長いですね。どれだけお話ができるか不安が先立っていますがYMCA というよりワイズの自分の事が多かったかも分かりません。（今井）

☆今年のトフ例会に今井さんに話していただいたのは良い巡り、良い時になりました。年長者のお手本はあり難いです。感謝。（江見）

☆バスの中、抱っこの赤ちゃんが笑ってくれた。お母さんもニッコリ。ほんわか～になって、あわててバスを降りた。ああ、泣きたいこともとんだ気がする。（大岸）

☆今井さんのお話をうかがい、びっくりすることばかりでした。またＹＭＣＡとワイズとのつながりを深めることの大切さを知りました。本当に素敵なお話をありがとうございました。（大橋）

☆私ももうすぐワイズメンとして２０年になります。その間、いろんなことがあって、自分で自分を「なだめたり、すかしたり」状態の時期もありました。どんなときも明朗快活、元気印の今井さんをメンターとしてもうちょっと頑張ります！（国友）

☆体調を壊していた友達から「元気になった」と電話があり、何年かぶりに会いました。嬉しかった。（桑原）

☆２月は、母の召天月ですので、第１日曜日母の母教会高輪教会の礼拝に出席してきました。ついでにお墓参りをして、スイトピーとフリージアをかざって来ました。教会では「お母さまにそっくり！」といろんな方から言われました。
（杉浦）

☆２月 11 日に杉浦、山田ご夫婦出演のチャペルコンサートを聴きに行きました。お二人とも素敵でした。すきな事を長く続けることの、素晴らしさを学びました。今井さんも長くワイズを通じて、多くの友人と、生きがいを見つけておられる。その努力に感服します。わたしに何が出来るでしょうか？（武井）

☆今井さんのおはなし、たのしみです。今井さんさむくなったので体にきをつけてくださいね。（武井美帆

☆念願かなって、ワイズというか今井さんの歴史を垣間見ることができました。人に歴史あり！　メンバー卓話の奥深さを感じた一日でした。（鳥居）

☆今井さんのお話。市民活動から YMCA、ワイズへ。人とのつながりなのですね。いつもの笑顔、いつも前向き、いつもお元気。心遣い、気配り、まだまだあります。いつも私、助けられています。ありがとうございます。（藤井）

☆今夜は今井さんのお話しをお聞きし、ますます今井さんが大好きになりました。何事も長続きしない私ですが素晴らしい仲間に出会いワイズ活動を楽しく続けてこられたことに「ビックリぽん！」です。ひとえに先人たちのお導きと感謝しています。（藤好）

☆今井さんより河内長野市での社会福祉委員もされたこと、多くの活動をされたことなどを聞かせていただき、ありがとうございました。（松下）

☆今日はとても寒いのですが、明日は暖かくなるそうです。気温の変化が急激ですね。これも温暖化の影響ですって。
（保田）

☆ワイズ活動以外に、野鳥の会、歴史の会……等々とお作りになり、すごいパワー！！　今井さんのお働きを目標にしよう。（吉岡）

☆今井さんの長年に渡る数々の功績に脱帽です。それと同時に同じ「なかのしま」の仲間として、ご一緒に活動が出来る幸せに感謝。自慢のメンバーです。（吉田）

☆今晩は今井さんのワイズ今昔物語と題してのお話です。とても楽しみです。（渡辺）

YMCA ニュース

☆第 275 回 早天祈祷会
日時：2016 年３月 18 日(金)7:30～8:30
証し：佐竹　博さん
（大阪 YMCA ウエルネス事業本部部長）
場所：大阪 YMCA 会館　10 階チャペル

☆「女性と防災・減災セミナー」
日時：2016 年３月５日（土）13：00～15：00
※終了後、茶話会あり
会場：大阪 YMCA 会館 10 階 101 号室
講師：NPO 法人とれじゃーBOX　理事長　大槻由美さん
対象：防災に取り組む地域の方々どなたでもご参加いただけます
申込：YMCA 国際文化センター(担当：北澤)まで
TEL：06-6441-0893
メール：kitazawa-keitaro@osakaymca.org

最近寒暖の差で体調をくずされている方が多いようです。周りでもインフルエンザも流行していますね……。寒い冬も残りわずかですが手洗い・うがいを忘れないように心掛けたいですね。　大橋　昌美

《《《　お知らせ　》》》

◎上原玉音さん（東京クラブメネット）から郵送用切手を頂きました。感謝。

編　集　後　記

今年も春がやってきた。故郷の鉄道沿線はこの時季が一番美しい。車窓から外を眺めて思い出に浸るのも旅の楽しみの一つである。